

令和7年度「北区基礎・基本の定着度調査」を受けての各教科の分析	
国語	多くの内容で、全国平均や区の平均を上回っていたが、「思考・判断・表現」「文章を書く」ことに、課題が見られた。自分の考えを言語化することに自信がもてなかったり、苦手意識を感じていたりすると考えられる。日頃から自分の考えをもたせる場を設定したり、日常的に考えや思いを言語化させ、主体的に文章を書くことができるようになることが必要である。
社会	多くの内容で、目標値を上回っている。課題は、事実と事実のつながりやその意味を考えて表現することである。知識を活用して、複数の資料を結び付けて考える活動を積極的に取り入れ、課題解決学習を進めていく必要がある。
算数	多くの内容で全国平均値や区の平均値を上回ってはいた。しかし、細かく見ると、割合やグラフ、図形など様々な課題が見られた。日々の学習の中で読み取って考えたり、色々な問題に触れて解いたりする必要性が求められる。全体としての結果はよくても、個人差が大きく、個別指導や支援が必要である。
理科	「思考・判断・表現」の観点の活用問題で、誤答・無回答が多い結果だった。問題文を正しく読み取り、理解する力が必要である。また、回答方法が記述式だったことから、自分の考えをもち、それを表現するといった部分にも課題があると考ええる。
英語	内容別で見ると、「英作文」で全国も区の平均値も下回っていることが分かった。観点別でも同様に、書く項目の正答率が低いことが分かった。書くよりも、聞いたり対話したりする活動を中心に取り組んでいたことがその結果につながったと考えられる。基礎・基本の学習を繰り返し行い、定着を図る必要がある。

本校の教育目標
かんがえる子 がんばる子 やさしい子 けんこうな子

本校が児童に育成したい力
本校の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とし、北区教育委員会教育目標及び北区教育ビジョン2024に示された理念を踏まえて実施する。そこで、本校の児童に育成したい力を以下のように考えた。 ①人間尊重の教育を基盤に、心豊かで創造的な知性が培われるとともに、思いやりの心をもち、たくましく生きる児童の育成 ②基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、自ら学ぶ意欲・態度と思考力・判断力・表現力を育む児童の育成 ③王子桜中学校までの小中一貫教育を通して、生涯にわたり学習することの意味を感得し、学習意欲の高い児童の育成

学力向上にかかわる経営方針
①各教科等の指導計画に基づく適正な教育課程の実施 ②学力調査結果の分析と授業改善（授業改善委員会による推進） ③算数少人数指導を中心とした、個に応じた指導の充実による学力向上 ④「学習GOODマナー4」を制定し、具体的な授業規律の全校的取組の徹底による学習習慣の定着

校内における学力向上推進体制
・教務主任を中心とした授業改善委員会、研究主任を中心とした研究推進委員会及び少人数指導教諭が連携して推進的役割を担う。 ・王子桜中学校・東十条小学校と連携し、「つまずきOプラン」を作成することで、具体的な「つまずき」を把握、計画的な学力向上策を実践する。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・算数科においては、3年生より少人数指導を取り入れ、児童一人一人の実態に合わせた指導を実践する。 ・低学年を中心に学力パワーアップ講師を配置して、学習の基礎形成期における個別指導を中心としたきめ細かい指導を実現する。 ・貸与されたきたコン（一人一台端末）を児童の「学習道具」、教員の「教具」として活用する。	・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」を十分に育成できるよう、授業時数を適切に確保する。 ・基礎基本定着度調査の分析をもとに作成した授業改善案を、毎年各教科の年間指導計画と照らし合わせて練り直し、児童の実態に合った指導計画を作る。	・「つなが・つなげる・つながり合う学びの実現～みんなでつくろう！ワクワクドキドキ授業～」を研究研究主題として校内研究を進め、授業力向上を目指す。 ・3～5人でグループを組み、それぞれ課題やめあてを設定して、教職員一人一人が主体的に校内研究に取り組み、互いに教育専門職としての研鑽を深める。	・児童、保護者、学校評議員、教職員で同一視点のもと学校評価を行い、分析して学力向上に生かす。保護者評価の集計にはICTを活用し、より多くの声を集める。 ・通知表委員会を組織し、評価の在り方を議論して、学校全体での共通理解をもとに評価を行う。	・創立151年目を迎えた今年、「一期一会～みんなでつくる新たな1ページ」を学校スローガンとし、保護者や地域の協力を得て、体験的な学習を増やし、学校や地域・郷土について、誇りや愛着をもてるようにする。 ・自ら学ぶ意欲を高めるために学年や発達段階に応じた家庭学習の習慣化を図る。